



第9回

# 知恵をカタチに、顧客を創造！ 知恵ビジネスプランコンテスト



## 認定プランを決定

### 「新たな付加価値や、顧客を創造する」プランを集中支援

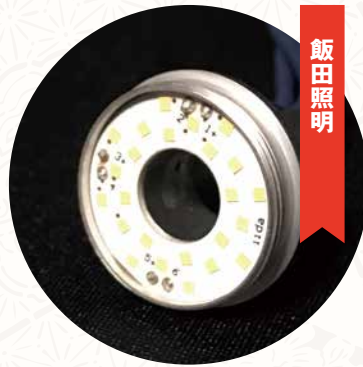
本所は、京都のまちの特性や企業独自の強み・知恵を活用して、新たな付加価値や市場を創造する「知恵ビジネス」を推進しています。「知恵ビジネスプランコンテスト」では、そうした独創性あふれる事業プランの中から、顧客創造を図り、企業価値を高めるものを「知恵ビジネスプラン」として認定しています。

9回目となる今回は、65件の応募があり、独自性やインパクト、実現性などの観点で書面審査、実地調査、ヒアリング審査を重ね、キラリと光る6件の事業プランを認定しました。認定を受けた企業には、本所のコーディネート力やネットワーク力を生かして、経営戦略・マーケティング、広報・プロモート、交流・マッチング、資金調達・補助金申請などに関するさまざまなハンズオン支援を継続的に行い、プランの実現を目指していきます。

ここでは、今回認定されたプランについて、その知恵の使いどころや生かし方などについて紹介します。



竹定商店



飯田照明



日根野勝治郎商店



エスティーワイ



ルシエールジャパン



京でん

(知恵ビジネスに関するお問合せ)  
本所 中小企業経営支援センター 知恵産業推進室  
TEL:075-212-6470  
E-mail:bmpj@kyo.or.jp





## 株式会社 飯田照明

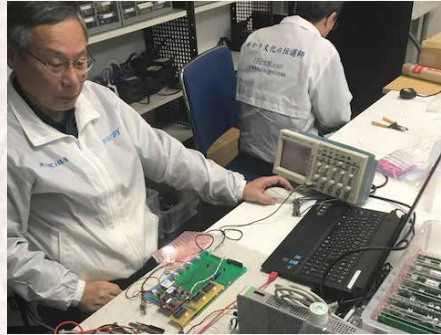
【代表者】飯田 史朗  
 【所在地】京都市山科区大塚中溝81  
 【電話番号】075-205-5177  
 【URL】<http://www.led-kogen.com/>  
 【事業概要】家庭用・業務用 LED 照明の開発、  
 製造、販売



環境に優しく安価で製品検査精度を向上するLED照明装置の開発

同社は、大手電機メーカー出身の技術者が中心となって創業したベンチャー企業で、高品質なLED照明の設計・製造をオーダーメイドで手がけている。数年前には、市場ではまだ珍しい超薄型LED照明や紫外線LEDランプを独自開発。様々な施設の照明器具としても使われているほか、樹脂やインクの前硬化や光触媒など産業用の光源として用途が大きく広がっている。

今回、こうした実績を生かし、製造現場などでの検査精度向上の個別ニーズに対応するプランを提案した。製品の検査はカメラや目視で細かな確認・選別を行う必要があるため、照度のたいへん高い光源が求められる。現在、光を一点に集約して製品を照らす特殊なLED(砲弾タイプ)が普及しているが、家庭などで使われる照明用のLED



(SMDタイプ)に比べると効率が低く、寿命も短いという課題があった。そこで同社は、これまで培ってきた技術とノウハウに加え、大手メーカーとのオープンイノベーションによる連携で、SMDタイプでありながら、十分な集光力を持ち、小型で高出力、省エネ、低コストの光源を開発した。特に、目視用の照明装置は目に優しいうえ、製品に紫外線を均一に照射できるのが特徴で、アニサキスの有無など食品分野の検査精度の向上にも貢献できる。

電子部品などがますます緻密化・小型化していく中で、品質に求められるニーズは年々厳しくなっている。製造現場の埋もれた課題を掘り起こし、ベンチャーならではのインパクトのある商品と技術でニッチ市場での受注拡大を図る。

### 審査委員長の

龍谷大学 名誉教授  
 佐藤 研司



これまで一般照明用LEDで培ってきたネットワークや独自技術をもとに、新たに製品検査用LED装置として事業化に取り組む。強みであるカスタム設計、少量生産、低コスト化等への対応力を生かし、また、市場規模が小さい製品検査用LEDの市場では同社の競争力を確保できるものと期待できる。



知恵ビジネスに  
**認定**

## エスティーワイ株式会社

【代表者】武部 康孝  
【所在地】京都市中京区式部町266-2  
【電話番号】050-5889-4572  
【URL】<http://goencha.com/>  
【事業概要】日本茶葉商品の企画・生産・販売



# 「ごえん茶」事業によるノベルティ・パーソナルギフト市場の開拓

「京都ぎよくろのごえん茶」のブランドで、玉露を中心とした宇治田原産の良質な日本茶葉を提供している。感謝の気持ちや時候のメッセージを添えた、愛らしいイラスト入りパッケージの「ごえん茶」シリーズや、お湯を注ぐと色が変化する「はなぎよくろ」など、五感を刺激するような商品を提供。これまでお茶にあまり関心がなかった消費者の心を引き寄せている。

コンテンツでは、贈る側の想いやこだわりが伝わる「パーソナルギフト」として、中元や歳暮などの贈答市場とは違うポジショニングで、お茶市場を新たに開拓していくプランが認定された。顧客の多様な要望に応えるため、機械の改良やオリジナル資材の開発により、数十個からという小ロットでティーバックやパッケージを作ることを可能にしたほか、企画からブレンド、パッケージ制作、販売まで社内で一貫して行うことで、お客様の個別ニーズに合わせたハイセンスなデザインを提案していく。今回、従来のメッセージに加え、お客様の似顔絵や写真のパッケージや、コーポレートカラーに合わせて色が変化するお茶など、オリジナルティを追求した新メニューも用意。企業向けのノベルティをはじめ、プチギフトやオリジナルグッズを作りたい個人にもアピールする。

## 審査委員長の

龍谷大学 名誉教授  
佐藤 研司

目

日本茶の市場はペットボトルの普及や家庭での飲用機会の減少などの影響で年々縮小傾向にあり茶葉の小売販売は苦境に立っている。茶葉を小分けにし、独自にデザインしたパッケージに入れることで、パーソナルなノベルティとして個人、企業に販路を広げる。小ロット対応やパッケージのデザイン力などの強みを生かす。





知恵ビジネスに  
**認定**

## 株式会社 京でん

【代表者】 竜田 昌雄  
【所在地】 京都市中京区西ノ京南原町10  
【電話番号】 075-275-8238  
【URL】 <https://www.cotocul.com/>  
【事業概要】 アパレル、服飾雑貨メーカー



## 京の素材を活かした革小物の一貫した自社製造販売事業の展開

「京都発信の世界ブランドを創る」という思いで、手描きの和柄ジーンズやTシャツ、アロハシャツ、革小物など、京都の伝統的な素材や技術を使ったものづくりに自社生産で取り組んでいる。今回のプランでは、支援者から得た資金でものづくりを行うクラウドファンディングの手法を活用し、これまで培ってきた商品企画力とデザイン力、そして染色などの職人との幅広いネットワークを生かした付加価値の高い革小物を提供。素材や色、機能、価格、コンセプトなど、どんな商品が欲しいのか顧客でもある支援者の要望をつぶさに反映しながら、試作の段階から何度もブラッシュアップして形にしていく。ぼかし染めが美しい色鮮やかなデザインでありながら、ポケット口が大きく開いて容易に中身が取り出せるミニ財布な



ど、商品化した革小物は使い勝手にもこだわった一点もののアイテムとして人気を集めている。今後は、クラウドファンディングで身に着けた、売れる商品づくりのノウハウを生かし、OEM受注など新たな市場開拓につなげていくことが期待される。こうした取り組みによって、作り手の思いや商品の背景にあるストーリーが目に見える価値となり、共感を得たお客様を巻き込んだブランドづくりができるようになった。トレンドの移り変わりが激しく、商品のライフサイクルが短いファッション業界において、消費者ニーズや購買動向を的確に把握し、時流に応じたマーケットインのものづくりを展開していく意義は大きいといえる。



### 審査委員長の

龍谷大学 名誉教授  
佐藤 研司



アパレルで培ったデザイン力や京都独自の素材や加工技術を生かし、財布等の皮小物の生産、販売を行う。自社生産を基本としており顧客の反応を見ながらモノづくりをおこなうことができる。将来的には、自社の技術や情報をもとに OEM 事業も検討するなど、販路の拡大に向けた取り組みを進めている。



知恵ビジネスに

認定

## 株式会社 竹定商店

【代表者】井上 定信

【所在地】京都市右京区太秦桂木町6

【電話番号】075-861-1712

【URL】<http://takesada-shoten.co.jp/>

【事業概要】竹材の加工、製造



## ディスプレイ業界における特注案件の受注拡大

明治10年の創業以来、自社が管理している竹林で、高い技術力を持った熟練職人が、竹の育成・伐採から造園用材や内装材等の加工・生産まで一貫して手がけている。

近年、外国人観光客の増加に伴い、新たに建設・改装されるホテルや商業施設で「和を感じさせるディスプレイ」へのニーズが高まっている。今回のコンテストでは、オンラインワンの素材やデザインを求める建築事務所やデザイナーに向けて、ディスプレイを中心としたオーダーメイドによる竹製品の空間演出を提案する取り組みが認定された。一貫生産体制によるスピーディーかつ適正価格での対応力に加え、社内外のデザイナーが培ってきた経験と知識を生かして、お客様の要望に叶う空間をデザインする。他社では取り



扱いが難しい規格外の長い竹材や、異素材との組み合わせなど、同社が強みとする素材力と加工力、表現力を掛け合わせたものづくりを展開。大手建築事務所などからの受注も増えている。

竹材は、古くから日本人に馴染みのある素材であるほか、「編む」「曲げる」「割る」など多彩な加工が可能なこと、活用次第でオリジナルテイあふれる設計やデザインが実現できる。現在、主に竹の用途は既製品に限定されているが、これからインバウンド需要がますます拡大していく中で、こうした和素材の魅力を発信し、クリエイターの創造力を刺激することによって、ディスプレイ市場での新たな販路開拓と受注の拡大を目指す。



## 審査委員長の

龍谷大学 名誉教授  
佐藤 研司

目

竹の育成、伐採、製造加工までを一貫して手掛ける強みを持っている。竹材をディスプレイ素材として設計事務所やデザイン事務所に提案することで受注案件の拡大を目指している。強みを生かして、施主の様々な要望に応じたオーダーメイド製品の提供ができ、また、短納期への対応も可能となる。



知恵ビジネスに  
**認定**

## 株式会社 日根野勝治郎商店

【代表者】日根野 孝司  
【所在地】京都市上京区元誓願寺通東堀川東入西町454  
【電話番号】075-417-0131  
【URL】<http://soo-kyoto-soo.amebaownd.com/>  
【事業概要】染色加工業



## 京友禅手染め絹の眼鏡拭き「おふき」で新市場の開拓

近年、着物の需要は縮小する傾向にあり、この厳しい背景のもとで職人の高齢化や後継者不足などが課題となっている。一方、インバウンド需要の拡大によって、伝統産業が見直され、クールジャパンの魅力が高まっていることに注目。染色加工業に携わる同業3社（株）関谷染色、（株）美和、安藤染工と共同で「SOO（ソマル）」というブランドを立ち上げ、京都を訪れる観光客に向けて、京友禅の伝統技法を活用した土産品をプロデュースする事業を展開する。

今回、新たに開発した「おふき」は着物の正絹生地を使った眼鏡拭きで、手染めならではの美しい色柄に加え、しなやかな風合いで静電気が起きにくいなど機能性に優れているのが特徴。インターネットなどでは提供せず、京都での限定販売とすることで、商品の希少価値を高め、眼鏡ユーザーの日常アイテムにとどまらない、観光客向けの土産として幅広い需要を掘り起こしていく。着物に比べると、価格が手頃で商品回転率が高いうえ、生地が小さく染めやすいことから、経験の浅い若手友禅染職人の活躍の場としても提供することで、担い手が不足する業界の課題に対応する考えだ。今後は、タブレットやスマートフォン用の関連商品も開発し、レパートリーを増やしていく。



### 審査委員長の

龍谷大学 名誉教授  
佐藤 研司



友禅染に携わる同業4社が協力して、京友禅技術の継承と新しい市場開拓を目指し土産物市場に参入する。絹素材、手染技術、デザインを生かした眼鏡拭き「おふき」は単に機能性だけでなく、京都ならではの土産物として、また、デザインを生かしたインテリア小物として外国人観光客へのアピールも期待できる。



知恵ビジネスに

認定

## 株式会社 ルシエール・ジャパン

【代表者】村田 憲彦

【所在地】京都市西京区川島東代町31-2

【電話番号】075-394-0230

【URL】<http://leciel-japan.com/>

【事業概要】染色加工、インテリア製品の製造・販売



麻と染を通して頑張る女性を輝かせる“asaCorsage”

希少な手織りの麻布を生産管理から手掛け、日本の四季折々の美しさを鮮やかな手染めで表現したのれんやタペストリー、和雑貨などを提供。特に50代以上のお客様から支持を得ている。一方で、お洒落を楽しみたいが、育児や家事、仕事で余裕がない…という30・40代女性のニーズに応えるため、女性社員の有志が中心となってブランド「asaCorsage」を新たに立ち上げ、のれん製造で培った素材力と染色技術を生かしたコサージュやブローチなどを提案している。ナチュラルな天然素材を使用しているため、金属アレルギーの方でも安心して使えるほか、小さな子どもが驚かすような形が崩れにくいデザインの開発や、服に穴を開けずに取り外しできるようにマグネットタイプを用意したりするなど、自分たちが欲しい



いもの、身に着けたいものを作りたい…という女性目線のコンセプトで生まれた、安全性と使い勝手を重視したアイテムが魅力。胸元を飾るファッションアイテムとしてはもちろん、バッグや帽子のチャームや小物を飾るアクセサリーなどとして、カジュアルな場面でもさり気なく使える。今、SNSが普及し、インスタグラムなどにペアコーデ、リンクコーデを投稿する女性が増えている。コサージュと一緒に蝶ネクタイやヘアアクセサリーなどを組み合わせ、夫婦や親子、家族でのコーディネート提案することで、ワンピースのお洒落を楽しむコサージュ文化を創造。若い世代の需要を呼び起こし、ファッション小物の新たな市場開拓を狙う。

### 審査委員長の

龍谷大学 名誉教授  
佐藤 研司



希少な麻素材と伝統技法である染め加工を生かし、育児世代の女性のニーズに応える。また、女性に限らず、親子や夫婦でも楽しめるペアコーディネート提案や、気軽に楽しめるカジュアルシートの提案により、ファッション小物の新たな市場開拓を図る。